

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

特許第3371124号

(P 3 3 7 1 1 2 4)

(45) 発行日 平成15年1月27日 (2 0 0 3 . 1 . 2 7)

(24) 登録日 平成14年11月22日 (2 0 0 2 . 1 1 . 2 2)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	
C 0 8 B 37/00		C 0 8 B 37/00	Q
A 6 1 K 35/80		A 6 1 K 35/80	H
// A 6 1 K 31/715		31/715	Z
A 6 1 P 1/04		A 6 1 P 1/04	

請求項の数 4 (全 4 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平9-285948	(73) 特許権者	597018303 田幸 正邦 沖縄県沖縄市泡瀬2丁目3番22号
(22) 出願日	平成9年9月9日 (1 9 9 7 . 9 . 9)	(72) 発明者	田幸 正邦 沖縄県沖縄市泡瀬2丁目3番22号
(65) 公開番号	特開平10-237103	審査官	内藤 伸一
(43) 公開日	平成10年9月8日 (1 9 9 8 . 9 . 8)	(58) 調査した分野 (Int.Cl. ⁷ , D B 名)	C08B 37/00 A61K 35/80 A61K 31/715 CA (STN) REGISTRY (STN)
審査請求日	平成11年1月12日 (1 9 9 9 . 1 . 1 2)		
(31) 優先権主張番号	特願平8-359852		
(32) 優先日	平成8年12月24日 (1 9 9 6 . 1 2 . 2 4)		
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		

(54) 【発明の名称】 養殖オキナワモズクを原料とするアセチルフコイダンおよびその製造法

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 糖 (L - フコース , D - キシロースおよび D - グルクロン酸) , 酢酸 , および硫酸の構成比が L - フコース : D - キシロース : D - グルクロン酸 : 酢酸 : 硫酸 = 3 . 0 ~ 4 . 0 : 0 . 1 ~ 0 . 3 : 0 . 8 ~ 1 . 2 : 0 . 5 ~ 1 . 0 : 0 . 8 ~ 1 . 2 であることを特徴とするアセチルフコイダン .

【請求項2】 養殖オキナワモズクをミキサー或いはホモゲナイザーで処理した後 , 酸 (0 . 0 1 - 0 . 2 モルの硫酸 , 塩酸 , 或いは修酸) 溶液に分散させ , 室温 (1 0 - 3 5 ° C) でアセチルフコイダンを抽出し , ケイソウ土濾過或いはアルカリで中和して連続遠心機で処理後 , 電気透析処理或いはその処理を行わず , 凍結乾燥によるか , 或いはスプレードライ , 或いはアルコールで沈殿させることを特徴とするアセチルフコイダンの製造方

2

法 .

【請求項3】 分子量の異なるアセチルフコイダンを製造する場合は , p H 3 . 0 (硫酸 , 塩酸又は修酸を使用し) に調製した溶液に養殖オキナワモズクを分散させ , 4 5 ° C で 1 - 3 時間加熱攪拌処理し , 分画分子量の異なる限外濾過膜装置で分画して製造する方法 .

【請求項4】 凍結乾燥機を使用して請求項2および3の条件で製造した薄い褐色を呈するアセチルフコイダンを塩化バリウム溶液に溶解後 , ケイソウ土層を通して濾過を行うか或いは連続遠心分離機により不溶物を除去して脱塩を行い , 凍結乾燥 , 或いはスプレードライ , 或いはアルコール処理することを特徴とする白色で高い品質のアセチルフコイダンを製造する方法 .

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】